

ホームページ掲載用シート

子ども会用

N o 1

子ども会名（ふりがな） べっかいちょうこどもかいいくせいれんらくきょうぎかい 別海町子ども会育成連絡協議会	連絡先（〇〇方、〇〇気付など具体的に） 〒086-0205 野付郡別海町別海常盤町280番地 別海町教育委員会生涯学習課内 TEL 0153-75-2111（内線3713）
会員数： 幼児（ ～ ） 小学生（ ～ ） 中学生（ ～ ） 高校生（ ～ ） JL（ ） 名 指導者（ 269 ） 名 201名 856名 311名 13名 <u>合 計 1381 名</u> <u>合 計 269 名</u>	
地域の状況： 当町は、酪農、漁業が盛んな町であり、特に酪農では、生乳生産量で全国第1位を誇る。人口は約16,000人であるが、出生率が全国でも上位に位置し、全国的に少子化が進む中で大変喜ばしい傾向である。しかし、若年層の都市部への流出には歯止めが利かず、人口は緩やかに減少している。 当町の子ども会は、地域子ども会が6団体あり、各地域の活動は非常に活発である。地域で子どもを見守り、育てていくという昔ながらの風潮が根強く息づいている。	
発足から現在までの主な沿革 昭和48年 別海町子ども会育成連絡協議会 発足 平成21年 事務局が中央公民館から生涯学習課へ移行	
子ども会での活動（年間行事計画） 4月 定期総会 6月 根室地区子ども会育成連絡協議会定期総会 出席（会長・事務局長） 野付半島雑草除去 参加（別海町社会福祉協議会主催事業） 7月 別海町子ども会リーダーのつどい 開催（別海町教育委員会と共催） 8月 福祉まつり 出店（別海町社会福祉協議会主催事業） 9月 根室管内地域子ども会のつどい 参加 10月 北海道地域子ども会育成研究協議会 参加 3月 ゲレンデスキー教室 協力・参加（別海町スポーツセンター主催事業）	
活動プログラムは誰が作りますか…？ 1 子どもたち 2 子どもと大人の代表 3 大人の作ったプロに子どもの意見を聞く 4 大人だけ 5 その他（	

特色ある活動及びプログラム、自慢できること：

「別海町子ども会リーダーのつどい」

この事業は、子ども会行事の中で最も長く続いている行事である。1泊2日の中で子ども達には様々な試練（ストレス）を与えます。そのストレスにどのように対応していくのかを考え、体験することによって、グループでの活動の仕方や、周りの人との協調性、自分から物事を行う力を身につけてほしいと考えています。

事業の内容は、固定性ではなく、その年担当になった職員が考えます。キャンプ、ウォークラリーなどグループでの協調性が強く求められる内容があったり、仮装をしてみんなの前で発表する内容があったりと、自由な内容のものが多くあります。

しかし、どの内容をとっても上記のような思いを込めてプログラムを作っているのです。1泊2日という短い期間でも子ども達が成長していると感じる場面は少なくありません。

今後も継続していく予定なので、子ども達に必要な力は何か、その力を身につけてもらうにはどのようなプログラムが効果的かを考えて事業を行っていきたいと思います。

平成26年度別海町子ども会リーダーのつどい事業報告

●目的

子ども会リーダーとして自主性や協調性を向上させ、より良い子ども会活動の発展をめざすとともに、次世代を担うリーダーの育成を目的とする。

●日時

平成26年7月5日（土）～6日（日）

●場所

別海町東公民館、尾岱沼ふれあいキャンプ場

●対象

町内小学4年生～6年生

●内容

チャレンジハイク、野外炊飯、陶芸体験

東公民館の敷地内の芝生にテントを張り、1泊する予定でしたが、参加者人数が想定以上となったため、東公民館大集会室内にテントを張り、宿泊することになりました。外ではなく、室内でのテント宿泊なので、子ども達はがっかりするかな…と思いきや、室内でも大興奮でした。テントを張る際には、早く張り終わったグループの子たちが、誰にも何も言われていないのに張るのに苦戦しているグループを手伝っていて、協力する力が身につけていると感じました。

チャレンジハイクでは、東公民館から尾岱沼ふれあいキャンプ場の間の往復約4kmを歩きながら課題をクリアしてキーワードを集めていくものでした。往復4kmは子ども達にとっては短い距離ではありませんでしたが、「次にどんな課題があるのかな？」というワクワク感で、疲れも忘れ、楽しそうに歩いていました。

1泊2日という短い時間でしたが、普段ほとんど会うことがない地域の子と交流することができて、とても楽しそうでした。また、楽しんで活動している中にも自主性や協調性が表れている場面もあり、子どもたちにとってもよい経験となったのではないかと思います。

子ども会活動における問題点：

上記の事業は、東公民館と連携して実施したため、参加者はしっかりと確保できましたが、その他の事業では、子どもをはじめ、育成者の参加者が非常に少なく、苦勞をしています。

子ども会活動における今後の展望：

育成者や保護者に子ども会活動がどのようなものかを知ってもらわなければ、子ども達の参加は増えないと考えます。子ども会活動への参加を積極的に呼びかける他に、どんな活動を行っているのかを見えるように情報を発信していく必要があると考えます。

活動の写真



写真の説明：
グループで協力してテントを張っている様子。

活動の写真



写真の説明：
チャレンジハイクの様子。次の課題が何かワクワクしながら歩いています。

活動の写真



写真の説明：
野外炊飯でカレーを作っている様子。
「早くできないかなー？」

活動の写真



写真の説明：
陶芸体験の様子。
初めて陶芸を体験する子も多く、みんな興味津々でした。